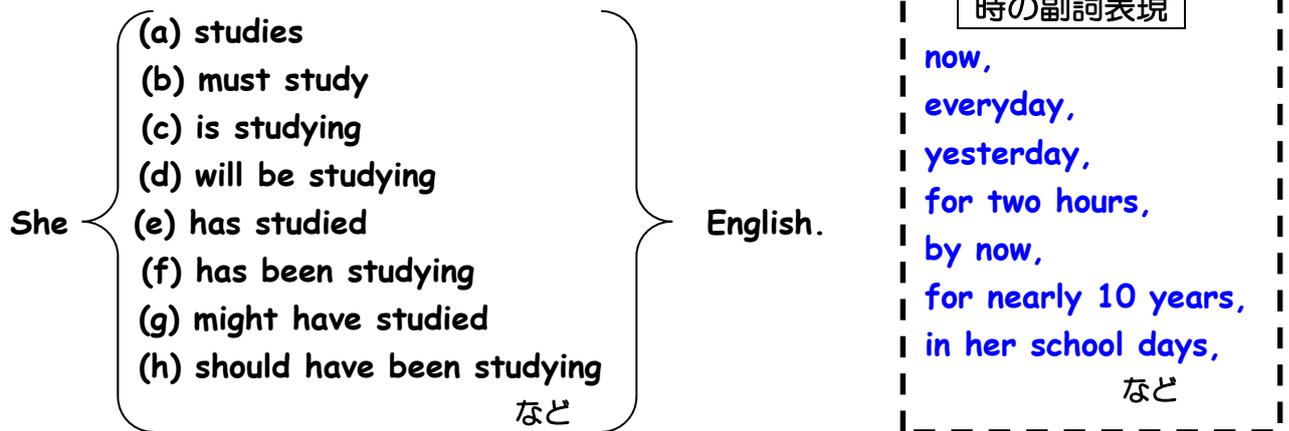


ASC 文法カフェ

長谷川 信子 (ASC・顧問)

第3回(6月20日)では、「**時制と助動詞**」を考えます。

時制、助動詞は、多くの学生にとっての苦手項目です。例えば、以下の文は、全て、動詞 **study** に、語 (**she**) と目的語 (**English**) がある典型的な **SVO** の文型の文ですが、助動詞の部分が異なります。その結果、文全体の意味や機能(使える状況)も異なってきます。その違い、説明できますか? そうした違いと対応する「助動詞要素や動詞の形」の関係を説明できますか? 英語の正確な理解には重要です。



また、右の点線囲みに「時の副詞表現」がありますが、こうした表現と一緒に使える助動詞には制限があります。(ちなみに、TOEFL や TOEIC でも、よく出る問題です。) どうしてそういう制限があるのか、分かりますか? 今回の「文法カフェ」では、そうしたことをまとめて「復習」します。

さらに、第1回、第2回でも多少扱いましたが、日本語と英語は「時制や相(完了・進行)のシステム」が同じではありません。日本語の「ル」(食べる、落ちる)、「タ」(食べた、落ちた)、「テイル」(食べている、落ちている)の意味と機能、英語との対応関係などの理解も、「英語を使う(話す、書く)」際には、気をつけて欲しい点です。そうでないと、以下のような「変な、非文法的な英語」を作りかねません。

私は演劇部に入っています。

***I am joining a drama group.**

寝る前に母に電話した。

***I called my mother before I go to bed.**

今回は、日本語も含めて、英語の「時のシステム」を体系的に考え、復習します。

「文法カフェ」では、「英文法」について、試験やテストとは異なった視点で、「**コトバ一般、日本語の体系**」にも言及しながら「**英語の体系・規則性、文法**」を考えます。

高校までの「覚えて学ぶ文法」から「**考えながら学ぶ文法**」、「コトバの力、知的活動を支える規則性」を感じてもらう時間です。「**英語のどうして?**」を深く考えてみましょう。

そして、「文法カフェ」で扱って欲しい項目のリクエストは大歓迎です。